

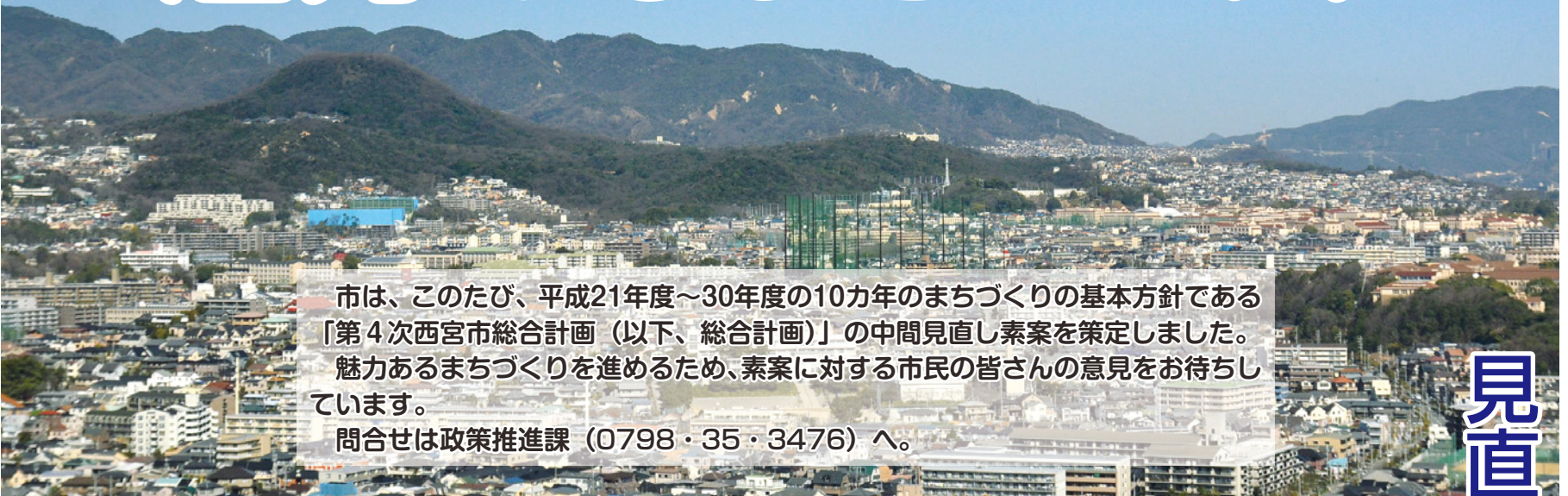
- ◇来年4月採用の市職員を募集……………2面
- ◇住民票の取得がサークルKサンクスとローソンでも可能に……………2面
- ◇保育所で短期体験などを実施……………3面
- ◇イタリア・ボローニャ国際絵本原画展を開催…5面
- ◇宮水学園マスター講座(後期)受講者募集…8面

●発行(毎月10・25日) / 西宮市役所: 〒662-8567 六湛寺町10-3 ☎0798・35・3151(代表) ●ホームページ <http://www.nishi.or.jp/>
●編集/政策局市長室広報課 ☎0798・35・3400 ✉vo_kouhou@nishi.or.jp ●携帯サイト「ふるむ西宮」<http://www.nishi.or.jp/i/>



第4次総合計画中間見直しへ意見を募集

魅力あるまちづくり



市は、このたび、平成21年度～30年度の10力年のまちづくりの基本方針である「第4次西宮市総合計画(以下、総合計画)」の中間見直し素案を策定しました。魅力あるまちづくりを進めるため、素案に対する市民の皆さんの意見をお待ちしています。
問合せは政策推進課(0798・35・3476)へ。

見直しの主なポイント

総合計画は、目指すまちの姿を示す「基本構想」を頂点に、まちづくり施策の体系的な枠組みを示す「基本計画」と、毎年見直しを行い具体的に施策を進める「実施計画」の3層構成になっています。「基本計画」については、中間年度である平成25年度に、社会経済状況の変化や各施策の進捗状況などを検証し、必要な見直しを行うこととしています。

当初計画の基本的事項や方向性は維持しつつ、計画策定後に生じた次の主要因を踏まえて見直しを行い、このたび素案を取りまとめました。

人口推計の見直し

30年度の市内人口を50万9000人と見込んでいたものが、49万1000人に見直されています。

当面は緩やかな増加傾向が続くものの、30年台半ばからは減少に転じることが見込まれています。

財政推計の見直し

21年度～30年度に施設や道

市民意識の反映

総合計画の推進にあたり、今後の市政運営の基礎資料とするために、21年度から「まちづくり評価アンケート」を実施しています。アンケート結果では、期待度やギャップ値(期待度と満足度の差)の高い施策として、「災害・危機に強いまちづくり」や「医療サービス充実」、「子育て支援の充実」などがあがっており、これらを踏まえた見直しを行っています。

新たな課題

総合計画を策定してからの新たな課題としては、①アサ

な新たな課題や社会経済状

皆さんの声を市政に 応募は8月14日～9月13日

素案は、8月14日から市役所本庁舎1階総合案内所横、各支所・市民サービスセンター、政策推進課(市役所本庁舎4階)で配布するほか、市のホームページ(市政情報→総合計画と部門別計画→総合計画)に掲載します。
【応募方法】素案への意見、住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号を書いたものを郵送かEメールで8月14日～9月13日(消印有効)に政策推進課(〒662-8567 六湛寺町10-3 ✉vo_seisaku@nishi.or.jp)へ。持参も可
※頂いた意見は市の見解とともに公表します(個人情報を除く)。電話での意見の受付や個別回答は行いません

河野市長からのメッセージ
誰もが住みたい、住み続けたいまちへ



本市は今年、文教住宅都市宣言から50周年を迎えます。将来の西宮市の在り方を考える大切な年で

あり、第4次西宮市総合計画の中間見直しは、その一歩になるものです。計画策定時に比べ、社会保障制度の改革、東日本大震災など本市を取り巻く環境が大きく変化しており、アサヒビール西宮工場の跡地活用問題など本市固有の新たな課題も生じています。これらに適切に対応し、実効性の高い計画とするために、市議会や学識経験者等から助言・指導をいただくとともに、全庁挙げて見直し作業に取り組んでまいりました。誰もが住みたい、住み続けたいまち西宮を目指す総合計画の中間見直しに、市民の皆さんの積極的なご意見をお願いします。

●主な見直しの内容(新たな取り組みなど)●

- アサヒビール西宮工場跡地に、耐震化や老朽化対策が必要な公共施設(市立中央病院、西宮消防署、中央体育館)の移転や多目的・防災公園の整備などを行うとともに、周辺地域を含め、新たな都市拠点としてのまちづくりを推進する
- 地域コミュニティ活動の推進のため、自治会等への加入促進を支援する
- 新陸上競技場の整備は、時期を見直すものの引き続き検討する
- 子ども・子育て関連3法の施行に伴い、幼児期の教育・保育や、地域の子ども・子育て支援の総合的な施策を推進する
- 高木小学校区内の児童急増に対応するため、校区内に新設校を整備する
- 児童発達支援センターを整備し、課題のある子どもへの相談支援体制を強化する
- 市立中央病院は、経営の健全化と経営形態の変更に取り組み、移転後の病院では救急医療、がん診療などに重点を置いた医療を実施する
- 本市の防災拠点となる(仮称)総合防災センターの整備は、教育委員会庁舎の建て替えと併せて実施する